

社会福祉法人 ミッドナイトミッションのぞみ会

2013（平成25）年度事業報告

1 事業概要

キリストの教えに立脚した法人の設立・運営の理念を全職員が理解し、利用者への適切な福祉サービスの提供及び法人の独自性を発揮した社会的使命の追求にあたることを基本方針とし、多機能総合福祉施設群としての一体的運営に留意し、事業を実施した。

2 新規実施事項

新規実施事項として以下の事項に取り組んだ。

(1) 訪問看護事業の開設

2013年3月1日付けで開設の認可を受け、4月から利用者への訪問を開始した。

法人において初めての事業となるが、富津市において訪問看護事業を実施している事業所は極めて少なく、高齢者にとって欠かせない医療的なケアの需要は大きいと考え、在宅サービスの強化のために開始した。

しかし、2013年度は周囲への認知不足と訪問看護を開始するために必須である医師の指示書が思うように出してもらえず、利用者の増加のスピードが予定より大きく遅くなるという結果になった。

(2) 児童家庭支援センターの開設

2013年4月1日からJR上総湊駅前の1戸建ての借家で、児童家庭支援センター「望みの門ピーターパンの家」を開設した。

相談支援員1名、心理相談員1名、里親相談支援員（望みの門かずさの里と兼務）の計3名を配置しスタートした。

2013年度は特に地域において広く認知してもらい、ニーズの掘り起こしやネットワーク作りに努めた。結果として年度後半には、富津市をはじめとする関係機関からの相談も増え、県内でもトップクラスの相談件数を抱えるに至っている。

(3) 望みの門デイサービスセンターの組織改編

2013年度は、通所介護事業所である望みの門デイサービスセンターを独立させ、施設長を配置して施設と同等の組織とした。

結果として、従来の日平均利用者数を4.5名上回る活性化に繋がった。

（日平均利用者数：2012年度21.9名、2013年度26.4名）

(4) 職員の福利厚生強化策の検討

慢性的な福祉人材の不足の中、有望な人材や専門資格保有者の確保が急務である。人材確保に資するため魅力ある職場、働きやすい職場作りに努めた。具体的に奨学金制度について検討し、制度として2015年度から運用が開始できるように2014（平成26）年5月24日の理事・評議員会にて審議いただくための案を作成した。また、法人内託児施設の整備については、職員への利用アンケートを実施したが、金額の設定、開設時間、託児所職員の確保に課題があり、具体的な実施の見通しは立たなかった。

(5) 適正入所定員の検討

望みの門楽生園は、2013年度においても欠員が継続した。行政の措置施設であるため、施設側での入所促進は難しく利用者が措置されるのを待つ状態に変わりはなく、同市にある公立の天羽養護老人ホーム（定員80名）への入所が優先される事情もある。一方、望みの門紫苑荘では入所待機者が多い状態が継続しているため、望みの門楽生園の浴室改修を機にこれを移転し、従来浴室を居室に転用することとし、ショートステイとして利用することについて千葉県と協議を開始する予定である。

望みの門学園は慢性的な定員割れをしているため、定員を若干名減らして新たな施設機能を付加することも検討する予定でいたが、2013（平成25）年に成立した「生活困窮者自立支援制度」において新たな利用者の受け皿として施設機能を活用することが期待されることから、現状を継続し、この動向を見ることとした。

(6) 50周年事業としての訪独感謝会

2012年度に法人創立50周年の事業を実施したが、望みの門での奉仕活動をされた宣教師やMBKの関係者を中心に過去の法人への働きに謝意を表することを目的に法独団を結成して2013年5月7日から16日まで訪独した。

現地にて感謝会を催し、関係者に感謝状と記念品を贈呈し、所期の目的を達成することができた。

(7) 障害者（児）に係る指定相談支援事業の開設

障害者総合支援法の制定に伴い、管理者1名（兼務）と相談支援員1名（相談支援従事者研修修了者、兼務）により、富津市から指定を受けて次の業務を実施した。

- ①障害福祉サービス等の利用計画の作成（計画相談支援・障害児相談支援）
- ②地域生活への移行に向けた支援（地域移行支援・地域定着支援）
- ③一般的な相談による支援（障害者相談支援事業）

計画相談は21名、モニタリングは2名の利用実績があった。

3 継続実施事項

2012年度以前からの継続実施事項として次の事項に取り組んだ。

(1) 人事管理

- ①職員研修
- ②人事考課制度
- ③キャリアパス制度と職階制度の効果的運用
- ④資格取得奨励

(2) 経理関係

- ①銀行業務の合理化
- ②消費税処理のシステム化
- ③会計処理のレベルアップ

(3) 諸規程の見直し

(4) 福祉学校訪問介護員養成研修

(5) パソコン活用の推進

(6) ISO認証資格

(7) 地域交流

4 職員の採用退職

(1) 職員総数 257名 (うち非常勤職員 63名) ※2014. 3. 31 日現在

(2) 2013 (平成 25) 年度中の職員の採用退職

(※2013. 3. 31 退職者含み、2014. 3. 31 退職者含まず)

採用	退職	再雇用
43名 (15名)	35名 (8名)	3名 (1名)

() 内非常勤再掲

5 施設整備

(1) 本部施設整備

ピーターパンの家外構	322,350円 (5/30)
事務局エアコン	110,460円 (9/5)
職員宿舍誘導灯	325,500円 (9/5)
地域包括支援センター看板	134,400円 (3/31)
地域包括支援センターパソコン	246,750円 (3/31)

(2) 本部・各拠点区分 100万円以上の支出 (工事、物品購入 等)

①法人事務局

a 岩坂 52-5 住宅耐震工事

金額：8,400,000円 支払先：伊東建設興業株式会社

②望みの門楽生園拠点区分

a 給湯設備改修工事

金額：7,875,000円 支払先：綜和熱学工業株式会社

③望みの門方舟乳児園拠点区分

a トヨタボクシー

金額：2,170,000円 (助成金：1,180,000円)

支払先：ネットトヨタ千葉株式会社

6 資金概要

(1) 法人本部の2013年度の主な収入

- ①雇用奨励金 112万円 (前年度 120万円減。申請方法変更による減収)
- ②寄附金 692万円 (前年度比 337万円減だが前年度 50周年お祝金有り)
- ③貸付金回収 3,739万円 (かずさの里及び富士見の里から貸付金回収)
- ④繰入金収入 3,000万円 (各施設より)

(2) 法人本部の2013年度の主な支出

- ①人件費 (4月1日事務員1名増)
- ②固定資産の取得 953万円
(岩坂住宅耐震 ピーターパンの家外構 地域包括支援センター看板
事務局エアコン 職員住宅誘導灯 地域包括支援センター用パソコン)
- ③ハイムへの貸付 368万円 訪問看護ステーションへの貸付 1,229万円
- ④君津ふくしネットへの繰入 400万円